



夏本番を迎えた六月二日、清流長良川畔にある関光ホテルにて、隔年に開催される総会が行われました。同窓生百五十名が参加し、和やかな雰囲気の中、盛大に挙行されましたことを報告いたします。

平成十四年度 同窓会総会開かれる

とお礼があり、また東京支部総会の報告もありました。

吉田康雄新校長からは、環境に恵まれた素晴らしい関高校に着任しての感想と、夢と可能性へのチャレンジをめざす旨の熱い思いが語られました。

清水公男議長が選出され、予定された議案が提案通り承認されました。議案の中で新役員等二十二名が承認され、代表して再任の会長から挨拶がありました。今後は支部活動等を活性化し、同窓会の良さをあらためる人に実感してもらえようというアプローチしていきたいとの抱負が述べられ、協力要請がありました。総会後、当番幹事(高十二、十三回生)の尽力により楽しく有意義な懇親会が開かれました。

(藤井由子)



第34号
発行所

関高等学校同窓会

岐阜県関市桜ヶ丘2丁目
郵便番号 501-3903
電話 (0575) 22-5688
FAX (0575) 23-7089

〈校訓〉

進 取
至 誠
練 磨

新役員紹介

会長 坂井敏明
副会長 奥田正子・山田登美子
藤井由子・福井寛悦
清水公男・山田武司
加藤隆志・長谷川勝彦
井上博文・伊佐地正克
林 隆一・鈴木良春
会計監査 小川淳二・加藤洋子



学校長
吉田康雄

関高等学校同窓会会員の皆様には平素より本校教育にご理解・ご支援を賜り感謝申し上げます。また昨年の80周年記念式典及び記念事業に際しましては格別のご尽力・ご支援をいただき心よりお礼申し上げます。

酒向前校長の後任としてこの四月に赴任したばかりですが、この間、関高に対する地

ラグビー部二十五周年

高三十八回生 河合 和之

去る三月二十四日、関高校ラグビー部の創立二十五周年記念祝賀会を関光ホテルで行いました。

式典には、創部当時の顧問の内川史朗先生をはじめ、高橋義明先生、矢崎誠先生、藤井健司先生らをお招きし、監督当時のエピソードなどを話して頂きました。また記念式典に先立ち、関高校グラウンドでOBと現役による親善試合も行われ、久しぶりに楕円のボールに触れたOBも数多くいました。

今回の二十五周年を機に、OB会員相互の親睦と、現役への援助を強めていきたいと考えています。

今後も、関高ラグビー部の活躍に期待しています。



球技大会の練習

毎年五月の連休明けになると、球技大会に向けての生徒たちの練習が本格的に始まります。

朝八時には、校舎前は円陣を組み、パス練習をする生徒たちで大賑わい。皆熱心に取り組みんでいます。写真はそんな朝の風景です。

誰もが生き生きとした表情で、声を張り上げながらボールを追いかけています。もちろん昼休み時間にも盛んです。こうした練習を通して、新しいクラスメイトとの交流が深まり、大会当日は、試合にも応援にも一段と熱が入り、クラスも一層団結します。勝つのも負けても、流れる汗はとても爽やか。気持ちのいい一日です。



卒業生の進路状況

進路指導部 沼波 政信

今春は354名が卒業し、進学者305名、再受験者49名という進路状況でした。

根強い国公立大志向と、資格志向・実学志向が引き続き見られ、国公立大や医療系学部などで厳しい入試となりました。また、法学部人気に付随して、文系学部にも人気が集まりました。私立大はセンタリ利用が全大学の約61%にまで広がったことと、就職を意識した大都市圏の大学希望者が増え、人気を回復しました。

入学先で見ますと、国公立大109名、私立大147名、国公立短大9名、私立短大13名、専門学校など27名でした。

合格延べ数では、国公立大124名、私立大528名、国公立短大28名、私立短大30名、専門学校など48名でした。主なところでは、東京3、金沢6、静岡9、名古屋10、名古屋工業4、岐阜33、京都2、慶応8、早稲田18、南山30、同志社12、立命館42、と合格者を出し、国公立大合格者は30名余増加し、全体的には例年以上によく健闘しました。

同窓会委員

高五十四回生(平成十四年三月卒業)

一組	高木 健
(幹事)	駒 栄
二組	納 将
三組	林 真
四組	岩 真
五組	尾 幸
六組	日 幸
七組幹事	山 祥
八組	上 野
九組	重 光

事務局だより

▼今年は二年に一度の通常会費納入の年にあたります。同封の振込用紙(今年は一人一枚郵送しました)をご利用のうえ、最寄りの郵便局よりお振込みください。よろしくお願いいたします。

▼八十周年記念誌を一冊千円、校歌CDを一枚五百円で販売します。ご連絡ください。

平成十三年 同窓職員異動

(転入)

事務部長補佐 岩田 幸子(高15回)
教諭(英語) 早川知子(高21回)

おくやみ

国光 澄夫 先生
久保 徹 先生

ご冥福をお祈り
申しあげます

第十三回 東京支部総会のお知らせ

期日 平成十五・六・十四(土)
午後一時
場所 東京駅八重洲口
八重洲富士屋ホテル
幹事 高校十三回生

会報委員

村 井 利 衛	高女25回
梅 田 洋 子	高11回
武 藤 玲 子	高13回
高 井 奈 津 子	高14回
金 中 満	高15回
野 中 子	高15回
平 田 和 子	高16回

東京支部総会

六月一日、十二回東京支部総会が開催されました。吉田校長や恩師の先生方を迎え、八十六名の盛大な会となり、各テーブルの関ゆかりの地名が懐かし、話が弾みました。ご病気の伊藤会長のご欠席は残念でしたが、格調高い挨拶に始まり、式次第も滞りなく終了し、続く懇親会では幹事の心のこもった趣向で大いに楽しむことができました。全員参加のゲームと万歳三唱で締めくくり、来年の再会を約して解散しました。(石塚和子)

安校会

岐阜県職員で構成する関高校同窓会の一支部である安校会も、今年で十五年目を迎えました。

二十一世紀は更に情報化が進み、社会も大きく変わろうとしています。県や県職員にも改革が求められ、新たな原動力を養い、縦横無尽に連携した組織を構築する必要があります。

二百余名の安校会のネットワークをフル活動させ、会員一丸となって、岐阜県勢発展のため邁進します。(野口正人)

定年退職と八十周年記念



前校長 酒向 幸紀

平成十三年度末で県立高校の教員生活に終止符をうち定年退職いたしました。校長在任中、学校の諸活動において、物心両面で同窓会の皆様には、大変お世話になり有難う御座いました。

中でも、創立八十周年記念行事と事業においては学校に全面的にご協力、ご支援を頂き感謝申し上げます。

八十年の歳月で学校周囲の環境もすっかり変貌し、校庭にも古木が覆うようになり、落ち着いた様子を呈するようになってまいりました。

この間約二万余りの卒業生を輩出し、県内はもちろんのこと国の内外において多様な活躍をされ、社会の発展に寄与されていることは誠に喜ばしい限りであります。これもひとえに卒業生の皆様が日頃から努力を積まれた賜物と存ずる次第であります。

八十周年記念事業で同窓会

には正門と校歌碑の改修をして頂き、名実ともに地区中心校としての装いが整い、地域のシンボルとして未来永劫に亘って輝き、後輩たちがこの校門をくぐることを目標として勉学を積むであろうことを予期するものです。

十一月十七日当日は体育館が生徒と本校関係者で一杯に埋まり、物故者に対する黙禱で始まった式典は、厳粛の中に各方面からの内容豊かな挨拶があり、本校の将来に寄せる期待を強く感じさせるものでありました。

教員生活最後の年に同高校創立八十周年記念式典を行なうことができた巡り合せは、私にとつては誠に幸運であったと共に生涯の大きな財産として残るものとなりました。

最後に、会員皆様の本校への深い愛情を今後ともに後輩に対してお寄せ頂くようお願い申し上げます。

感謝状贈呈者

○歴代校長

高橋 伸郎 高田 晃
保井 孝 村瀬 辰美

○歴代同窓会長

渡辺 宣章 広瀬 恒行

○歴代PTA会長

山口 義明 森 俊雄
千賀 勝史 渡邊 光顕
伊藤 昇 炭竈 好司
金子 満 林 隆一

○永年勤続校医

藤川 逸美

○永年勤続旧職員

谷江 勇一 榊山 舜亮
乾 洋一郎 多賀 博和
篠田 忠 高寺美恵子

中村 美紀 那須 明彦
服部 哲夫 福田 弘子
三尾 寛次 南 正弘
武藤 晴好 武藤 玲子
渡辺 昌文 市原 美幸

○永年勤続現職員

可児 隆雄 久保 徹
小森 泰道 三島 雄次
山内 俊二 戸部 善晴
藤吉ちづ子

○功労者

炭竈 利夫
(株) 炭竈 利夫
(敬称略)

創立80周年記念事業決算書

1	収入合計	19,409,164円
2	支出合計	19,409,164円
3	差引残額	0円

1 収 入

項 目	収 入 金 額	摘 要
同窓会分担金	10,000,000	記念事業(校門建設・校歌碑改修)
その他の収入	9,409,164	PTA分担金その他の収入
収 入 合 計	19,409,164	

2 支 出

項 目	支 出 金 額	摘 要
実行委員会費	59,820	実行委員会運営経費
記念式典費	2,379,512	招待状、表彰記念品、来賓接待等
記念講演費	770,420	記念講演 和泉 雅子 氏
記念誌発行費	2,403,452	80周年記念誌 1,600部発行
記念事業費	13,795,960	校門建設・校歌碑改修、体育館ステージ幕・暗幕等
支 出 合 計	19,409,164	

